

## 第 357 回所長会議議事要旨

日 時 令和 7 年 4 月 18 日（金） 13 : 30 ～ 14 : 30

場 所 管理棟大会議室 + ウェブ（Teams）併用

出 席 者

【構成員】 浅井機構長、足立理事、長野理事、花垣理事、道園理事、齊藤素粒子原子核研究所長、  
船守物質構造科学研究所長、波戸共通基盤研究施設長、  
小林 J-PARC センター長（東海キャンパス所長）

【オブザーバー】 三明監事、白木澤監事

【管理局等】 柴原総務部長、森安財務部長、原研究協力部長、永野施設部長、櫻井参事役、  
岡田安全衛生推進室長、島根監査室長、岩見人事担当課長、由井職員担当課長、  
仲島情報基盤管理課長、飯塚財務企画課長、飯塚経理課長、日下田契約課長、鈴木東海契約課長、  
山口研究協力課長、枝川連携推進課長、根本共同利用支援課長、三國 QUP 業務推進室長、  
河西国際企画課長、横田施設企画課長、栃木資産マネジメント課長、山本整備管理課長、  
福田東海管理課長

議 事

【1】第 356 回議事要録の確認について

資料 1 のとおり承認された。

【2】協議

（1）特定有期雇用職員の雇用計画・公募案について（物構研・特別助教 1 名・ミュオン）について  
船守所長から、資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

（2）特定有期雇用職員の雇用計画について（安全衛生推進室（東海）・特別事務専門職）  
道園理事から、資料 3 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

（3）技術職員採用人事委員会の設置について  
道園理事から、資料 4 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

（4）防衛装備庁・安全保障技術研究推進制度への申請に係るガイドラインの策定について  
花垣理事から、資料 5 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。  
浅井機構長より、申請予定者が所属長の了解を得た上で研究担当理事に申出書を提出することについては、申請を躊躇させることにつながるのではないかと、所属長に申請があったものは了解の有無に関わらず報告していただき、役員所長等懇談会で議論できるようにしたいとのコメントがあった。

（5）欧州原子核研究機構（CERN）との協定補記 No. 29 の締結について  
花垣理事から、資料 6 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

（6）令和 8 年度概算要求事業（施設関係）（案）  
道園理事から、資料 7 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

（7）ハイパーカミオカンデ中間検出器（IWCD）建設工事について  
道園理事から、別途配信資料、資料 8 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

（8）J-PARC センター サブリーダー候補者の選考について

船守所長から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(9) 雇用職員に係る東大理学系研究科担当教員の取扱いについて

花垣理事から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

【3】報告

(1) 令和7年度監事監査計画について

三明監事から、資料9に基づき報告があった。

<報告事項(2)はクローズド報告>

(2) 特定有期雇用職員の採用について

岩見人事担当課長から、別途配信資料に基づき報告があった。

以上